

迎春

廿日市市 シルバーだより

平成27年1月1日 第54号



吉和：教龍寺の銅鐘と紅葉



事務局長兼務

監事

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

常務理事

理事長

謹んで新年の
ご祝詞を申し上げます
皆様のご健康とご多幸を
役職員一同心から
お祈りいたします



職員一同

高嶋 眞二

湊	田	若	石	武	佐	上	北	山	瀬	銀	三	鴨	高	岡
崎	中	松	角	田	藤	羽	本	口	良	内	浦	谷	嶋	崎
義	博	秀	修	英	博	隆	賢	智	智	俊	康	孝	眞	美
則	隆	敏		貴	子		治	恵	恵	彦	敬	雄	二	弥

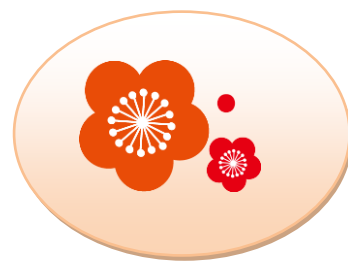
会 員 数
正会員 776人
男性 590人
女性 186人
(26年12月17日現在)

編集・発行

公益社団法人 廿日市市シルバー人材センター
廿日市市下平良1-1-5
電話 0829-20-1468 FAX 0829-20-1470
ホームページ <http://webc.sjc.ne.jp/hatukaichi/>

広報・福利厚生部会

新年のごあいさつ



理事長 岡崎 美弥子

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、ご家族揃ってお健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、地球温暖化の影響からか冷夏と長雨が続き、各地で豪雨災害の発生があり、広島県でも北部地域を中心に記録的な豪雨災害により大規模な土砂災害が発生し、甚大な被害となりました。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げたいと思います。

国においては、慌ただしい年の暮れに、解散総選挙が実施され、我々国民は、国の急速な少子高齢社会への舵取りを委ねるべく、重い一票に託し新年を迎えることとなりました。

平成25年総務省統計局の推計によりますと、65才以上の高齢者が、3,186万人、高齢化率が25%となり平成26年度中には、団塊の世代全ての方が65才に到達し、65歳以降も働きたいという人が8割を占めるとの調査結果（内閣府）もあるなど、又、高齢者の就業意欲は高くなっている一方、65歳以上の就業率は20,1%にとどまっており、高齢者が健康で働き続ける環境整備が必要となってまいります。

昨年の9月には、政府の最重要課題として「まち・ひと・しごと創生（地方創生）」が掲げられました。人口急減・超高齢化という我が国の直面する重要課題に対し、一体となって取り組み、地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な社会の創設が大きな目標となっています。

シルバー事業が、こうした社会の高齢者の受け皿としての機能を十分果たせるよう、センター、県連合本部、全国シルバー事業協会が、自らの課題を把握しそれを解決するための方策を立て、実践していくことが不可欠であり、これまで以上に緊密な連携を保っていくことも必要であると考えます。

平成27年度においては、事業運営、団体運営を総括し、中期計画の見直しを実行し、「シルバー事業のあり方に関する提言」を踏まえ「就業の拡大」「会員の増強」を重点目標とし事業の展開を図ろうと考えております。

関係各位の皆様におかれましては変わらぬ、ご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

本年も皆様の益々のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



夢サロン製作 招福 干支のひつじ

平成27年を迎えて



廿日市市長 眞野 勝弘

新年、明けましておめでとうございます。

廿日市市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかな新年を お迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、市政運営に対しまして、格別のご支援を賜っておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、2016年のASTCアジアトライアスロン選手権が廿日市市で開催されることに決定しました。

リオ・デ・ジャネイロ オリンピックの選考会を兼ねた本大会には、アジア地域からトップクラスの選手が参加し、世界文化遺産のある「宮島」を背景に熾烈な鉄人レースが繰り広げられます。

これを機に、より一層、本市の魅力を国内外に発信するとともに、地域の活性化・経済効果にもつなげていきたいと考えておりますが、多くの皆様に夢と感動を与える大会とするためには、市民の皆様や企業・団体の皆様との連携が不可欠でございますので、ご協力をお願いいたします。

また、昨年は、JR廿日市駅の自由通路や周辺整備、地域医療拠点等の整備に向けた協定の締結、一般廃棄物処理施設の整備など、皆様の生活に密着した事業が動き出しました。

今後も人口減少が進むと予測される中、市民の皆様とともに地域の特性を生かした、廿日市らしいまちづくりを進めていきたいと考えておりますので、シルバー人材センターの皆様におかれましても、長年積み重ねてきた豊富な知識や経験を地域のために発揮していただきますようお願い申し上げます。

結びに、廿日市市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

廿日市市議会議長 有田 一彦



明けましておめでとうございます。

廿日市市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、健やかな27年の新春を迎えられました事とお喜び申し上げます。

昨年をふり返りますと、台風や大雨による土砂災害など大自然の猛威を感じた一年でした。本市においても安心安全のまちづくりは、喫緊の課題です。

一方、嬉しい話題としましては、2016年アジアトライアスロン選手権の誘致が本市に決定したことです。プロの選手を目の前で見られるのも、大きな感動となるでしょう。

さて、我が国が世界でも類を見ないスピードで超高齢化社会に突入していることは、よく耳にすることですが、このような状況だからこそ、今までになかった、新しい社会の構築が進められなくてはなりません。

皆様におかれましては、叡智の伝承に加えて、世代や地域を越えて、生き生きと暮らし続ける事の出来る「協働のまちづくり」の構築へ、一層のご指導、ご協力をお願い致します。

市議会といたしましても、シルバー世代の皆様が健康で楽しく働ける環境づくりにより一層、努めて参りたいと考えています。

終わりになりますが、シルバー人材センターの皆様方のご活躍により、本市全体が元気になるように、ご活躍されますことを心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

私は未年（ひつじどし）



「今年に想うこと」

吉和班

広兼 将嗣

新年明けましておめでとうございます。

早いもので還暦を過ぎ、干支歴で又一回りしたことになりました。過ぎてみればあっという間でした。最近仕事をして疲れがいつまでも残るようになり、歳のせいかと思うようになりました。シルバー人材センターにお世話になり六年が過ぎましたが、入会当時は先輩に草刈り等、がむしゃらについて行ったことを思い出しています。年を重ねることは人生充実する事にありますが、毎年が始めての年であり、わくわくする事もあれば不安な面もあります。何の仕事でも苦しいことがあります、仕事に出て会員の皆さんと休息时间、世間話しをしながら楽しい日が過ごせたら最高であります。

平成十六年から旅行に行った時には神社、仏閣でご朱印をいただきながら旅をしています。ご朱印帳を出してみるとこれまで十年間で五十のご朱印をいただいています。年月日が入っているのでその時の情景が甦って来ます。お寺さんによるとすぐく達筆をふるっておられ、惚れ惚れする美しいものもあります。将来の夢とか抱負とかは好きな“旅行”、趣味を生かしていくのが肩も凝らなくて良いのかもしれない。自然体で行こうと思っています。これから先、ご朱印百を目指し、楽しんで行こうと思っています。

皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



「センターに入って」

四季が丘班 酒井 寿美子

明けましておめでとうございます。

私は、シルバー人材センターに入会して四年余りが過ぎます。入会のきっかけは、四季が丘に移転して十年余りが過ぎましたが、当初、近所の方達の顔も名前も分からず何か物足りない日々でした。皆様方と少しでも交流する事ができればと思い入会した次第でした。

現在は、四季が丘市民センターの日直業務となかよしルームでの託児の仕事に携わっております。市民センターの業務はシルバー会員の全員が男性だと言うこと、又大半が夜の仕事と言うことで、当初は私に出来るのかと不安一杯でスタートしましたが、市民センターの職員さん、又一緒に就労している会員の皆様方に助けて頂いて今日に至っております。この仕事をさせて頂いた事によって、多くの皆様とお話する機会が増え、顔見知りの方達も沢山出来ました。又一番の喜びは、センターに出入りする子供たちがどこで逢っても“公民館のおばちゃん”と声を掛けてくれ、その日の出来事等、時間を忘れて楽しそうに話してくれます。これもシルバー人材センターに入会し就労させて頂いているから得ることの出来た私の一番の“宝物”だと思っています。又なかよしルームでの託児も、大切な子供さんを預かるのですから怪我のない様に、又一人ひとりの子供さんのその日その日の様子の把握と気を抜く事は出来ませんが、その都度先輩の会員さんに色々教えて頂き、日々成長させてもらってます。色々の子供がいます。泣きたくする時もありますが、子供一人ひとりの仕草又無邪気に遊ぶ様子を見ると日頃のストレスも吹き飛んでいくようです。これからも健康管理に十分気を付けて“生涯現役”で就労できるよう頑張っていこうと思います。

シルバー人材センターの益々の発展と会員皆様のご健康をお祈りいたします。



「ことしは、としおとこ」

大野1区班 中本 照夫

新年おめでとうございます。

「ひつじ年＝としおとこ」になるので、一言という依頼があり、面食らいました。

生来、話すこと、書くこと、何かにつけ不器用、不調法でどうなることかと思いましたが、文章を書き、それが印刷されて皆さんに読んでいただけるということは、そう、あることではありません。・・・というわけで、簡単に安請け合いました。

シルバー会員としては、競艇場の管理業務（1年のみ）、タイムス等の配達業務を5年してきましたが事故もなく順調に継続しています。

これまでの、72年の人生のうちで、社会、世界には悲しい出来事、悲惨な災害、紛争などが起こっていますが、私個人については、自分は不運だ、惨めだ、不幸だと感じたことは余りありません。それどころか、今はこの年になって、最高の楽しみ、これほどの喜びを自分が享受してもいいのだろうかと思っているくらいです。それは、孫の誕生です。歌の文句ではありませんが、それはそれは、可愛いです。長生きして孫の成長をずーっと見続けていきたいと思っています。励みになります。生きがいです。

昨年の定期総会から新たなスタート

平成26年6月の第42回定期総会では役員の改選も行われ、これに伴い各専門部会も新たな顔ぶれでスタートしました。今年1年も全力で頑張ります。会員の皆様のご支援・ご協力を謹んでお願い申し上げます。

総務部会長・・・・・・・・石角 修



理事に就任して3年目を迎え、今年度から総務部会長を就任させていただくことになりました。皆さまご存じのように当シルバー人材センターにおいては、平成24年度以降の会員総数は減少傾向にあり、団塊の世代の総てが65歳を迎える今年度においては、団塊の世代の会員獲得と女性会員の獲得が必須とされ、これに伴い就業機会の確保・提供が急務とされております。そうした中で、今年度の総務部会の取り組みとしては「会員の拡大」と「就業機会の拡大」を最重要課題として取り上げ、2015年春のゆめタウン史上最大級となる「ゆめタウン廿日市（仮称）」のオープンに合わせた就業開拓を行い、活動による就業機会の拡大が会員増強への波及効果をもたらすことを期待し、より一層のシルバーの機能強化、活性化を図りたいと考えています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

普及啓発部会長・・・・・・・・北本 賢治



昨年の役員改選に伴い、普及啓発部会長の重責に就きました。民間企業による65才までの継続雇用制度に加へ高齢者の就業意識が「生きがい就業」から「生活就業」へとシフトしている状況と思われます。当シルバー人材センターへの入会者も同様の状況と思われ会員の減少傾向にあります。団塊の世代が「職場から地域社会」へと活動の場所を変えてくる現状をとらえ私たち普及啓発専門部会は、次の三つの目標を掲げ活動しています。①シルバーの知名度をあげることを目的とします。②シルバー会員に各種各行事への参加呼びかけを行う。③シルバー予備軍にシルバー会員加入を呼びかける。中でも今年度の最大の目標を「会員増強」を合言葉としています。廿日市市の各種イベントを利用しタイムリーなPR活動を行い、シルバー会員募集ポスターの掲示、会員によるボランティア活動を通じ地域社会への参画を進める。そしてマスメディアには、マスコミに取り上げてもらう話題を提供しています。こうした活動も会員皆さまや各専門部会と連携することが不可欠と思われます。高齢者としての生きがいつくり、健康維持、社会貢献等々プライベートや余暇の充実というシルバー本来の目的を実現するためにも、会員皆さまのご協力をお願いします。今年もよろしくお願いします。



普及啓発～チラシ配布活動



広報・福利厚生部会長・・・・佐藤 博子



「会員の健康と福祉」をモットーに、会員一人ひとりの健康維持とコミュニケーションを進めてまいりました。色々なイベントを開き、参加していただき会員さんの「次は何をするん！」の声に後押しされ、話し合い、議論しあい、笑いありの中で心の健康、体の健康が保たれるよう進めています、次の日の仕事への意欲とつながりますように。そうして9月、琴平温泉への一泊旅行。残念！9月のグラントゴルフは雨のため中止となりました。10月6日のサンチェリーでの「環境フェスタ」は肉うどんからかきあげうどんに変更、リユース食器でのうどんは好評でした。11月9日のあいプラザ福祉まつりは早朝の雨もお昼頃には上がり、600本の串焼きも完売となりました。やはり地域の人、会員のみなさんの協力あつてのイベント。1月13日（火）囲碁・将棋、1月25日（日）新年互礼会、2月男性の料理教室、3月日帰り旅行とまだまだ行事は続きます。一人でも多く参加していただき活気あるシルバーでありたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



なごみの会琴平温泉



女性会活動～イベント参加

・・・支え合い事業・・・



女性部会長・・・・・・・・・・ 山口 智恵子



引き続いての女性部会長に就任です。

役員改選年度の昨年は、7月末から新役員も加わり、活動計画から始めました。女性会員の皆さんを始め、女性が「いくつになってもいきいきと活躍できる場所づくり」の一つでもあるセンターで、さらに楽しく活動するお手伝いと、新しい女性会員を増やしたい！をモットーに活動してまいりました。

廿日市市のイベント会場で、10月末の環境フェスタや11月のあいプラザ祭りで、なごみの会のうどんや焼き串と一緒に、炊込みご飯を早朝から作り販売しました。味も出来具合も手作りならではの仕上がりですが、毎回おかげさまでお昼過ぎには完売しました。子供がおいしいと食べたので、おみやげにとまた買っていただきました。11月半ばには、交流会でアルカディアビレッジへ出かけました。極楽寺参拝後、アルカディアでは活動報告後、昼食、ゲーム、ピンポン、折り紙作りなどを楽しみ、温泉にもつかり、久しぶりの顔合わせで話も弾み交流を深めました。12月始めのなかよしルーム一掃セールは、極寒の中の畑から野菜を出荷してもらい、手作り小物やフリマーの服、炊込みご飯をルームの就業会員さんの協力で販売し無事に終わりました。寒い中、顔馴染みの皆さんに寄っていただき、自然と感謝の気持ちが湧いてまいりました。また2月24日には年度末報告会を予定しています。より多くの女性会員の皆様にご参加いただき、親睦を深め今後の活動の活力にしたいと思います。

今年も女性部会にご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

安全管理部会長・・・・・・・・・・ 鴨谷 孝雄



新年明けましておめでとうございます。

私は、地域原班の班長も昨年3月には無事交替となり、ほっとした矢先、原地域からの理事選任という大変な重責を負うこととなりました。さらにセンターが設置する部会では「安全管理部会」への所属と部会長への就任です。昨年が役員の改選の年であったこともあり、部会の活動も若干遅れてのスタートとなりましたが、事故防止と安全就業はシルバー会員全体の最も重要なことであり、ゆっくり勉強する暇もなく8月から早速安全パトロールなどの年次計画に基づく実施に取り組んでおります。昨年は、夏期の長い降雨に見舞われるなど、仕事が遅延し、段取りも不安定であったと思います。こうした状況では繁忙と焦りの中で安全確認が手薄となるなど、事故を起こしやすい環境となっています。幸いにも本センターでは大きな事故もなく就業できたことには会員の皆様に深く感謝しております。

今年も気候・天候も安定するとは思えません。部会では、廿日市、佐伯吉和、大野宮島のセンター本所、支所が役割を分担し安全管理部会員が皆さんの就業場所を訪れ、安全就業への心がけをお願いしております。心新たに、会員の皆さんと共に事故に気を付け、防止に心がけ、笑顔で「ひつじ年」を過ごしたいと願っております。

本年も会員の皆様のご健勝と安全就業をお祈り申し上げます。

「見逃すな、ヒヤリで済んだ、あの経験」・・・今年もよろしくお願い申し上げます。



県連合による安全パトロール立入調査風景
植木の選定、機械除草の就業箇所

4月春の一掃セール



4月 さくら祭り～出店



7月 海の日 ボランティア清掃活動



10月 全会員研修会



10月 シルバーの日 ボランティア清掃



11月 佐伯 リサイクル祭り



11月 あいプラザ福祉祭り



10月 環境フェスタ

高齢者生活支えあい事業



雨天の朝、「お早う、久しぶりじゃね、元気だった」と会場へ集まり、一番に骨密度の測定に・・・、通常病院で検査をすることがなく、「自分の骨は丈夫」と思っている人が意外と多い。血圧、体脂肪、尿検査も済ませ、自分の健康チェックが出来「ひと安心」。

昼の食事タイムでは、女性会手造り弁当がヘルシー、野菜豊富、薄味、豆入りご飯で皆さんの好評で美味しかった。



骨密度測定



ゲームは、楽しいひと時！！

歌に合わせて、手指の運動、替え歌、先生の美声で盛り上がり、はずかしさの中でも、気持ちわくわく異性の手を久しぶりにぎり皆さんの目が輝き出す。青春時代にタイムスリップしたようだ、歳ともに体の動作は気転が効かないことも忘れ、大笑いの声と拍手喝さい、日常生活では味わえない喜びと笑顔が充満。健康管理、食事、楽しいゲームを通して、多くの各地域の皆さんと交流ができました。

皆さん方も友達を誘って、人生のひと時をこの会で楽しみ、過ごしましょう。 ワーキング 武田 英貴



11月役員・リーダー研修～佐伯文化C



「センター事業の課題は」・・・中国ブロック役職員研修会から

～全国シルバー人材センター事業協会

多機能時代に対応するセンターへの転換が必要、特に請負、派遣、有料職業紹介機能の拡充。そして、地域社会・会員からのあらゆるニーズへ応え、補助金への依存体質からの脱却と自主財源の確立が求められます。センターの根幹である「会員の拡大」では、現在の会員約75万人（全国）を100万人達成に向け、**会員一人の1人新規入会運動**を徹底し、会員増を図ることが肝要としています。本センターでは、現在会員776名、目標の会員数は1000人となります。そうした中で昨年4月から12月の新規入会は82名に達しました。

新年を迎え、会員の皆様には目標に向けたご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

本年も事務局職員一同、よろしくお願い申し上げます。

廿日市市SJC事務局



※表紙写真 中田 満会員（津田班）提供

タイトル文字 瀬良 智恵会員（地御前班）